

映画美学校 言語表現コース

ことばの学校 第3期演習科 募集要綱

講師

佐々木敦

<創作クラス>

大崎清夏、小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク、九龍ジョー、滝口悠生

<批評クラス>

倉本さおり、豊崎由美、矢野利裕、山本浩貴（いぬのせなか座）

<特別講師>

朝吹真理子、川上未映子、保坂和志、吉増剛造

2023

後援：書肆侃侃房

映画美学校言語表現コース「ことばの学校」演習科は第3期より2クラスに分けることになりました。「創作クラス」と「批評クラス」です。

すでにやや昔話になりますが、私はかつて長らく「批評の学校」をやっていました。少しずつかたちを変えながら十年以上も続けたあと、そろそろ別のことをやってみたくなり、自分の考える「批評」を教えるスクールは一区切りにしたわけですが、それから数年を経て、より広い視野で「言語表現」を学ぶスクールとして、この「ことばの学校」を立ち上げ、気づけばもう三期目になっていました。

私を含めて総勢17名の講師が毎週毎週入れ替わり立ち替わり、その人ならではの「言語表現」観や「ことば」論を披露していく千本ノック的な基礎科に続く演習科は、基本的に実践編です。やはり私を入れて5名の専任講師が各自課題を出し、受講生は実際に「書くこと」を学んでいく。その合間に4人のゲストによるスペシャル講義が挟まる、というのが演習科のカリキュラムですが、第3期は「書くこと」を「創作」と「批評」に分けることで、よりフォーカスを絞ったコースにできないかと考えました。それは私にとっては、久しぶりに「批評の学校」を復活させることでもあります。

思えば「ことばの学校」は最初から試行錯誤の連続、実験の繰り返しだったのですが、これもまたひとつの実験です。クラスが二つになることで、専任講師の人数も二倍に増えました。創作を、批評を学ぶこと、いや、学ぶことを始めること、学ぶことを学ぶことにかんして、ユニークかつベストな人選ができたと自負しています。

第三期演習科のスペシャル講義は、二つのクラスの共同で行なわれます。ゲスト講師には、朝吹真理子さん、川上未映子さん、保坂和志さん、吉増剛造さんをお迎えします。また、この共同講義は、普段は直接接することのない「創作クラス」と「批評クラス」の受講生がお互いを知り合う機会にもなるのでは、と期待しています。

創作と批評、しかし実のところそれは、創作が「書くこと」、批評が「読むこと」というわけではありません。確かに入り口はそうだと思われるかもしれませんが、当たり前のことですが「書くこと」と「読むこと」は裏表であり（どちらが「表」でどちらが「裏」ということでもない）、創作にも批評の次元が存在しているし、批評にも創作の要素がある。だから二つのクラスは、あくまでも扉に過ぎない、とも言えます。書くためには読ま（読め）なければならないし、読むことは書くことに通じている。

ことばの学校第3期演習科の二つのクラスに、多くの参加者が集うことを願っています。

【カリキュラム】

| 言語表現のさまざまなジャンルに触れ、「自分が自分だからこそ書ける言葉」を発見し、獲得することを目指します。

| 基礎科でさまざまな言葉のプロフェッショナルから得たことを、演習科では課題提出を通して、自身の言葉と表現を模索していきます。

| 演習科では、創作クラスと批評クラスを用意。曜日が違うので両クラスを受講することも可能です。各クラス主任講師と4名の専任講師による連続講義のほか、両クラス合同のスペシャルゲストによる特別講義を行います。ゲストは朝吹真理子（小説家）、川上未映子（小説家）、保坂和志（小説家）、吉増剛造（詩人）を予定しております。

| 演習科では、対面とオンライン併用のハイブリット型講義となり、受講生の都合に合わせてお選びいただくことが可能です。

【創作クラス・講義日程】

毎週木曜 19:00～

1	1月25日	木	19:00～	佐々木敦・1
2	2月1日	木	19:00～	佐々木敦・2
3	2月8日	木	19:00～	佐々木敦・3
4	2月15日	木	19:00～	小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク・1
5	2月29日	木	19:00～	小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク・2
6	3月7日	木	19:00～	小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク・3
7	3月14日	木	19:00～	ゲストによる特別講義
8	3月21日	木	19:00～	大崎清夏・1
9	3月28日	木	19:00～	大崎清夏・2
10	4月5日	金	19:00～	ゲストによる特別講義
11	4月11日	木	19:00～	大崎清夏・3
12	4月18日	木	19:00～	滝口悠生・1
13	4月25日	木	19:00～	滝口悠生・2
14	5月9日	木	19:00～	ゲストによる特別講義
15	5月16日	木	19:00～	滝口悠生・3
16	5月23日	木	19:00～	九龍ジョー・1
17	5月30日	木	19:00～	九龍ジョー・2
18	6月7日	金	19:00～	ゲストによる特別講義
19	6月13日	木	19:00～	九龍ジョー・3
20	6月20日	木	19:00～	佐々木敦・小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク・大崎清夏・ 滝口悠生・九龍ジョー

* 講師の都合により講義内容・日程が変更する場合がございます。

【批評クラス・講義日程】

毎週金曜 19:00～

1	1月26日	金	19:00～	豊崎由美・1
2	2月2日	金	19:00～	豊崎由美・2
3	2月9日	金	19:00～	豊崎由美・3
4	2月16日	金	19:00～	倉本さおり・1
5	3月1日	金	19:00～	倉本さおり・2
6	3月8日	金	19:00～	倉本さおり・3
7	3月14日	木	19:00～	ゲストによる特別講義
8	3月22日	金	19:00～	山本浩貴・1
9	3月29日	金	19:00～	山本浩貴・2
10	4月5日	金	19:00～	ゲストによる特別講義
11	4月12日	金	19:00～	山本浩貴・3
12	4月19日	金	19:00～	矢野利裕・1
13	4月26日	金	19:00～	矢野利裕・2
14	5月9日	木	19:00～	ゲストによる特別講義
15	5月17日	金	19:00～	矢野利裕・3
16	5月24日	金	19:00～	佐々木敦・1
17	5月31日	金	19:00～	佐々木敦・2
18	6月7日	金	19:00～	ゲストによる特別講義
19	6月14日	金	19:00～	佐々木敦・3
20	6月21日	金	19:00～	佐々木敦・豊崎由美・倉本さおり・矢野利裕・山本浩貴

* 講師の都合により講義内容・日程が変更する場合がございます。

主任講師、専任講師プロフィール

佐々木敦（思想家／主任講師）

思想家。HEADZ主宰。文学ムック「ことばと」編集長。

30年以上にわたって芸術文化の複数のジャンルで、執筆、批評、企画、編集、オーガナイズ、プロデュースなどを行ってきた。著書多数。

【創作クラス】

大崎清夏（詩人）

神奈川県出身。2011年ユリイカの新人。詩集『指差すことができない』で中原中也賞受賞、『踊る自由』で萩原朔太郎賞最終候補。ほか著作に散文集『目をあけてごらん、離陸するから』（リトルモア）、詩集『新しい住みか』（青土社）など。絵本、海外詩の翻訳、他ジャンルとの共同制作や、朗読劇の執筆も手がける。2019年ロッテルダム国際詩祭招聘。

小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク（舞台作家）

二人組の舞台作家である小野彩加と中澤陽が舞台芸術の創作を行なうコレクティブとして2012年に設立。舞台芸術の既成概念に捉われず、独自の新しい仕組みを研究開発しながら舞台芸術の在り方と価値を探究している。固有の環境や関係により生じるコミュニケーションを創作の根源とし、作品ごとに異なるアーティストとのコラボレーションを積極的に行なっている。

九龍ジョー（ライター／編集者）

編集を手がけた書籍・雑誌・メディア媒体など多数。最近はYouTubeチャンネルの監修も。「Didion」編集発行人。エランド・プレス相談役。著書に『伝統芸能の革命児たち』（文藝春秋）、『メモリースティック』（DU BOOKS）、『遊びつかれた朝に』（ele-king Books／磯部涼と共著）ほか。

滝口悠生（小説家）

1982年東京都生まれ。2011年「楽器」で新潮新人賞を受けデビュー。2015年『愛と人生』で野間文芸新人賞、2016年『死んでいない者』で芥川賞。他の著書に『寝相』『ジミ・ヘンドリクス・エクスペリエンス』『茄子の輝き』『高架線』『やがて忘れる過程の途中（アイオワ日記）』『長い一日』『水平線』『ラーメンカレー』。

【批評クラス】

倉本さおり（書評家）

週刊新潮「ベストセラー街道をゆく！」連載中のほか、文芸誌、週刊誌、新聞各紙で書評やコラムを中心に執筆。『文學界』新人小説月評(2018)、毎日新聞文芸時評「私のおすすめ」(2019)、文藝「はばたけ！ くらもと偏愛編集室」(2019～21)、共同通信文芸時評「デザインする文学」(2020～23)。TBS「文化系トークラジオ Life」サブパーソナリティ。共著に『世界の8大文学賞 受賞作から読み解く現代小説の今』(立東舎)、『韓国文学ガイドブック』(P ヴァイン)など。

豊崎由美（書評家）

1961年、愛知県生まれ。主な著書に『ニッポンの書評』『ガタスタ屋の矜持』『まるでダメ男じゃん！』など。共著も大森望との『文学賞メッタ斬り！』シリーズや『村上春樹「騎士団長殺し」メッタ斬り！』はじめ多数ある。

矢野利裕（批評家、DJ）

1983年生まれ。東京都出身。文芸と音楽を中心に批評活動をおこなう。2014年、「自分ならざる者を精一杯に生きる——町田康論」で、第57回群像新人文学賞評論部門優秀作を受賞。著書に、『学校するからだ』(晶文社)、『今日よりもマシな明日』(講談社)、『コミックソングがJ-POPを作った』(P-VINE)、『ジャニーズと日本』(講談社現代新書)などがある。

山本浩貴（小説家、デザイナー、批評家、編集者、いぬのせなか座主宰）

1992年生。10代より小説や詩を制作・発表。2015年に制作集団・出版版元「いぬのせなか座」を結成、デザインやパフォーマンス、劇作、芸術全般の批評も開始。主な小説に「無断と土」、批評に「死の投影者による国家と死」、デザインに「クイック・ジャパン」、企画・編集に『早稲田文学』2021年秋号（特集＝ホラーのリアリティ）。

ことばの学校 第3期演習科 募集要項

募集人員：＜創作クラス＞40名、＜批評クラス＞40名（最低開講人数：各クラス15名）

受講期間：＜創作クラス＞2024年1月25日（木）から6月20日（木）

毎週木曜 19:00～22:00

＜批評クラス＞2024年1月26日（金）から6月21日（金）

毎週金曜 19:00～22:00

※ゲスト講師による特別講義は創作クラス、批評クラス合同の講義となります。

※両クラスとも最終講義は他クラスの講義に参加可能です。

教室：ハイブリット型講義

対面の場合：映画美学校（渋谷）渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F ほか

受講料：99,000円（税込）

※映画美学校通年講座を初めて受講される方は、上記の受講料以外に入学登録料(10,000円)が必要になります。実習費等の別途徴収はありません。

※ダブル受講割：創作クラス、批評クラス両方受講を希望の場合、受講料から15,000円を値引きします。

【分割のお支払いに関して】

半額 50,000円をお支払い、残り 49,000円を分割支払い

支払回数	金利	受講料金額	頭金	残金	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引落金額
5	4.20%	99,000	50,000	49,000	2,060	51,060	10,212

（単位：円／税込）

・ダブル受講割の方

半額 93,000円をお支払い、残り 90,000円を分割支払い

支払回数	金利	受講料金額	頭金	残金	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引落金額
5	4.20%	183,000	93,000	90,000	3,780	93,780	18,756
8	7.00%	183,000	93,000	90,000	6,304	96,304	12,038

（単位：円／税込）

申込方法：オンラインによる申込

基礎科受講生（正規受講生・聴講生問わず）を先行受付（先着順）とし、基礎科受講生で定員に達しなかった場合のみ一般からも受け入れます。

基礎科受講生先行受付期間：2023年11月9日（木）～2023年11月20日（月）20:00まで

<基礎科受講生で定員に達しなかった場合>

申込受付期間：2023年11月21日（火）昼12:00～2024年1月15日（月）20:00まで。

ただし、定員に達し次第申し込みを締め切ります。

【申込フォーム】



<https://business.form-mailer.jp/lp/4a92a26a218823>

お申し込み・お問い合わせ：映画美学校

〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F

電話番号：03-5459-1850 FAX 番号：03-3464-5507 受付時間（月～土）12:00-20:00